

AUDREY TANG

オードリー・タン



台湾IT担当大臣（政務委員）

2016年10月に台湾の蔡英文政権において35歳の若さで行政院に入閣し、無任所閣僚の政務委員（デジタル担当）を務めている。幼い頃からコンピューターに興味を示し、12歳のときにPerlを学び始めた。2年後の14歳のとき、学校生活に馴染めなかった彼女は中学を中退した。19歳のときに、シリコンバレーでソフトウェア会社を起業した。

2005年、外見と自己意識を一致させるために、名前を変更するなどの女性への性別移行を始めた。性別移行を開始した後、唐鳳はブログ上において「私の脳は私が女性であると認識しているのに、社会的にはそうでないことが要求されるので、私は長年に渡って現実世界を遮断し、ネット上で生活をしてきました。」と述べている。東森電視のニュースチャンネルは彼女のIQが180以上であると報じた。2019年1月、アメリカの外交専門誌『フォーリン・ポリシー』の2019年のグローバル思想家100人に選出された。彼女は独学と個人主義的無政府主義の支持者である。

2016年8月、唐鳳は林全内閣の政務委員に任命された。10月1日にデジタル担当の政務委員に就任し、35歳での閣僚就任は台湾史上最年少となった。

唐鳳は「デジタル技術とシステムによって政府の問題解決を補佐し、民間と政府のコミュニケーションの促進と強化を行う。自分の役割は特定の団体の利益のために動くことでも、政府のために政策の広報を行うことでもなく、より多くのアイデアと力を結合させる『パイプ』となることだ。」と述べ、政務委員としてこれに取り組み、若年層と高齢層のジェネレーションギャップを埋め、パブリック・アクセスのためのフリーソフトウェアの開発し、台湾の新たな共有経済が実際に機能することを示した。

オードリー・タンを講演者として招聘されたい方は、
ジャパン・スピーカー・ビューロー

TEL: 03-5778-7641

EMAIL: info@japanspeakerbureau.com

までご連絡下さい。